

# おごせ 教育 Pick Up

## 学力を伸ばしていくために大切なこと

前回の「ズームイン教育」でお知らせした国及び県の学力調査の結果では、越生町の子供たちは、1年間で学力が大きく伸びたことをお知らせいたしました。

さらに、越生町の子供たちの生活の様子に関する「家庭生活・家庭学習・3つの㊦」についてのアンケートを調べてみると、次のような傾向があることが分かりました。

○あいさつをよくする。また、自分からできている子が非常に多い。

○脱いだ靴をそろえ、かかとを踏まずに靴をはいている

子が非常に多い。

○使った物を片付けることなど身の回りの整理ができている子が非常に多い。

これらは、越生町が推奨している3つの㊦(あいさつ

あしもと あとしまつ)の取組で、越生町の子供たちは、基本的な生活習慣が整っています。

前回お知らせした学力調査の結果と合わせて考えてみると、基本的な生活習慣と学力には大きな関係があることが分かります。ご家庭でも3つの㊦について話題にしてみてはいかがでしょうか。



### おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。



ズームイン教育258

## 社会で活躍できる 「人財」の育成を目指す学校

県立越生高等学校

本校の目指す学校像は「生徒一人一人の長所を伸ばし、

社会で活躍できる「人財」の育成を目指す学校」です。地域の方々に見守られ、生徒達は意欲的な学校生活を送っています。普通科と美術科があり、落ち着いた環境で特色ある教育を行っています。また、地域の協力による三日間の就業体験活動等の実施により、社会に出て必要なスキルや人間関係能力を身に付けます。

普通科では、三十名の少人数学級編制と国語、数学、英語の少人数・習熟度別指導を活用して、「わかる授業」を創造しています。

美術科は、県内高校で唯一の映像表現の授業や多数の専門科目により個々の能力を最大限に伸ばしています。

十一月の埼玉県高校美術展では、本校美術部生徒の作品が優秀賞を受賞し、来年、佐賀県で開催される全国高等学校総合文化祭出品が決定しました。全国大会出品は十三年連続となりました。その他では、高校生国際美術展最高顧問賞や県展入選等めざましい実績を収めています。

### 【平面部門】

優秀賞・全国大会出品

タイトルル…「海幸」

作者：野辺 駿祐



### 【立体部門】

優秀賞・全国大会出品

タイトルル…「一喝」

作者：沼澤 竜穂



# 越生浪漫

No.120

亥年の越生



↑「宇邊酒校」の墨書がある1871年米国製掛時計

明治以降の亥年の主な出来事を拾ってみました。  
 明治8乙亥年(1875) 4月 上野村医王寺に宇邊の学校開設(それまでは上野村の児童は、常福寺(廃寺)の如意学校に通学)。  
 明治20丁亥年(1887) 8月 町村制施行に先立ち、埼玉県知事が内務省に新町村編制案を上申。越生村・上野村・黒岩村を併せて西入間郡越生村。大満村・黒山村・龍ヶ谷村・小杉村・津久根村を併せて同郡梅園村。古池村・上谷村・堂山村・鹿下村・成

瀬村・大谷村・西和田村・大園村を併せて南比企郡大成村。如意村は同郡今宿村へ、麦原村は同郡都幾村へ再編。  
 明治32己亥年(1899) 2月 越生商業銀行設立、頭取は島野伊右衛門氏/3月 越生町長に石井和三郎氏就任/10月 郡議会議員に川口布司太郎氏当選。  
 明治44辛亥年(1911) 9月 県議会議員に山崎啓蔵氏当選。郡議会議員に岩田平太郎氏当選。越生町長に平沼子之吉氏就任。(10月 中国で辛亥革命勃発)  
 大正12癸亥年(1923) 2月 入間郡西部運送業組合(荷馬車組合) 結成三周年記念西武競馬大会開催。(9月 関東大震災)  
 昭和10乙亥年(1935) 10月 第4回国勢調査。越生町は人口5,002人、梅園村は人口3,127人。  
 昭和22丁亥年(1947) (2月 八高線脱線転覆事故) 4月 越生国民学校が越生小学校、梅園国民学校が梅園小学校と改称。越生小学校南校舎を仮校舎に越生中学校、梅園小学校北校舎の一部及び最勝寺・建康寺を利用して梅園中学校開設。長谷部秀邦氏県議会議員に当選/10月 第6回国勢調査実施。越生町は人口6,600人。梅園村は人口3,614人。  
 昭和34己亥年(1959) 6月 越生中学校(当時の校地は黒岩) 講堂竣工。堀江徳司氏県議会議員に当選。  
 昭和46辛亥年(1971) 4月 越生小学校(校地は河原町) 裏山で地滑りが発生、南校舎が危険となり、児童は北校舎と旧越生中学校校舎へ避難/9月 梅園小学校南分校4~6年生を北校舎に統合。越生中学校体育館竣工。  
 昭和58癸亥年(1983) 1月 越生七福神めぐり開設/3月 越生保育園新園舎・中央公民館・体育館完成  
 平成7乙亥年(1995) (1月 阪神淡路大震災) 4月 ゆうパークおごせ開業/6月 日印友好の集い。第1回あじさいまつり。  
 平成19丁亥年(2007) 9月 損壊された役行者像修復開眼/10月 梅園神社創建百周年記念獅子舞奉納。

## おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.81

### テングチョウ

「チョウ目タテハチョウ科」

テングチョウの名前は、口の一部が長く突出して、天狗の鼻のように見えることに由来します。成虫で越冬し、1月でも暖かい日には希に、この越冬成虫が飛翔しますが、翅を閉じると枯葉に似ているため目立ちません。3~4月、日向ぼっこや春の花に訪花する姿の発見は、比較的容易です◆「昆虫と自然の館」の庭のエノキには、4月下旬になると雌成虫が産卵するために飛来します。幼虫はエノキの葉を食べますが、葉脈は食べ残します。幼虫の体色は低密度発生時は緑色ですが、高密度の時は黒色になります。これを「相変異」と呼びます。◆新成虫は5月下旬頃に出現し、しばらく活動した後、夏眠(夏に活動を停止する)に



テングチョウの成虫

入り、秋に少し活動して越冬に入ります。つまり、成虫は活動している期間より、休んでいる期間の方が長いのです。ただ、一部の新成虫(第1世代)は夏眠に入らず、産卵して第2世代幼虫が出現。7~8月に第2世代成虫が羽化し、第1世代と第2世代の成虫は共に越冬して、越冬成虫となります。これも珍しい現象です◆2015年7月、奥秩父で本種の大発生に出会いました。百個体以上が、秋の落ち葉のように舞っていました。この年は埼玉県内の数か所でも本種が大発生しました。こうした大発生は昔から知られていますが、そのメカニズムは全くわかっていません。(巣瀬 司)